

中東時事アップデート 2019年6月1日

アミール・ツアルファティ

- ガリラヤ湖よりライブ・イスラエルの政治危機・シリア情勢・バーレーンでの経済フォーラム -

<https://youtu.be/4LEAHqRQzuo>

オッケー。これで皆さんにも聞こえていることを願います。

さて、20分前にシリアからヘルモン山に向けて、ロケット弾が発射されました。私は、ここにいる皆さんに何か音が聞こえたかと聞いたら、彼らは聞こえなかったと言っていました。私も聞いていません。神に感謝します。しかし、2発のロケット弾がシリアからイスラエルに向けて発射されたことを、IDF（イスラエル国防軍）が明らかにしました。これは流れを変えるものです。ネタニヤフ首相を知っていますから、私たちは、この数時間の内に確実に報復します。ここにいる私たち全員にとって、今夜は興味深い夜になるでしょう。通常、ガリラヤ湖のこちら側にいる私たちには、何も聞こえませんが、F-16やF-15（戦闘機）、F-35（ステルス戦闘機）の音が聞こえたら、ただ喜んでください。それは、我々が対処しているということですから。我々は、これを放置しないということを意味します。いいですか？彼らが2発のロケット弾を発射して、我々が何もしなければ、彼らは明日、5発発射します。それでも我々が何もしなければ、彼らは翌日、10発発射するでしょう。これがまさにガザで起こっていることです。我々がしかるべき形で報復をしなければ、彼らはあらゆる事を始め、いま、私たちは暴力のサイクルが時折起る時点に達し、時によって、彼らは2~3日の間に、700発~900発のロケット弾を送ってきます。2発のロケット弾がシリア、またはシリア側から発射されました。高い可能性で、イランの民兵たちの、この3~4年の間にイスラエルが行ってきたすべてのことに対する復讐です。イスラエルはヘルモン山で2発のロケットの落下を検知しました。死者はありません。イスラエル軍はいま、報復を熟考しています。迅速かつ決定的な報復が、これから2~3時間の内に行われる可能性がとても高いです。次の情報が待ちきれません。何かあれば、お知らせします。

では、この一週間で起こった3つの異なることについて、話をしましょう。おそらく皆さんは知らないと思いますが、まず初めに、イスラエルは再度選挙を行います。自分がこんなことを言っているとは、信じられません。我々はあの選挙を乗り越えて、もう一度、選挙の過程を乗り越えなければなりません。問題は、ネタニヤフ首相が、ものすごい“地すべり”勝利を成し遂げ、議会に65席を獲得して、安定した政府を結成できると考えていましたが、60議席しかないことに気づきました。60議席では、長く続かないことを意味します。アヴィグドール・リーベルマンの政党は5席獲得していて、リーベルマンは駆け引きをして、いくつかの契約条項を定めました。それが確実に流れを変え、流れを止めて、ネタニヤフはリーベルマンの要望を受け入れるよう、超正統派の政党を説得することができませんでした。ですから私たちは、また選挙を行います。私は自分の言っていることが信じられません。イスラエルが、またしてもあの狂気を経験するのが、本当に信じられません。しかし、それが民主主義です。民主主義とは、政府がないなら、もう一度、選挙を行う。そのとおり。民主主義が最善の状態ではありませんが、ともかくひとつ確実なのは、ネタニヤフはもう一度、額に汗して、今回はさらに必死になって、イスラエル人の確信を勝ち取らなければなりません。彼が初めにしなければならないのは、投票に行くように国民を説得することです。イスラエル人は、これらすべてにうんざりしていて、私たちは選挙運動にうんざりしています。汚名の着せ合いや、選挙運動中に起こる、そういったことにうんざりしています。しかし、私たちは選挙をします。

リーベルマンがあれをした同じ日に、ロバート・モラーが、トランプ大統領の共謀を調査する委員会を辞任しました。“ロシアの共謀”。イスラエルとアメリカの政治界の間には、多くの類似点があるように思えます。これで足りなければ、これで終われば良かったのですが、石油生産と石油価格の世界におけるドラマが、今日現在、1バレルの原油価格はほとんど撃沈で、\$53です。前回のアップデートの時は\$71でした。アメリカは1日に1300万バレルを生産。イランは、たった40万バレルまで激減。OPEC（石油輸出機構）を全部合わせて、3000万バレルです。アメリカは価格を決定することができ…、ところで、高価格を維持するためのサウジとロシアの協力がなければ、1バレルあたりの価格は、おそらく20~30ドルまで下がって

いて、\$50もなかったでしょう。皆さん、これはすごいことです。なぜなら、イランやロシアの経済は、完全に石油価格に依存していて、それが、イランが40万バレル以上生産ができず、その上、1バレルあたりの価格が2年前のほぼ半分となれば、彼らにある選択肢は2つです。政権を崩壊させるか、戦争を始めるか。唯一、彼らに分かっているのは、彼らは政権を維持し、交渉に戻って屈辱を受けるようなことはしない。アメリカにとっては、より有利で、彼らにとっては、さらに悪い条約です。ですから、もちろん私はロシアにもイランにも驚きませんよ？

それから、つい先ほど聞いたのは、トルコがキプロスの沖合で石油の掘削を始めました。キプロスは、トルコの部分とギリシャの部分で分割されている島です。キプロスの石油掘削地の周辺の緊張感は、どんどん高まっています。トルコは、イスラエルが石油を発見し、キプロスがガスを発見するのを見ています。そして自分たちは何も見つからないので、怒っているのです。だからいま、彼らはキプロスの地域に行き、採掘し、その人たちのものである石油を取りたいのです。もちろん、キプロスとギリシャとイスラエルは同盟を組んでいます。ですから、このトルコとの緊張感から、興味深いことが起こるでしょう。

それで足りなければ、リビアが崩壊して、ベネズエラが崩壊。それからイランが崩壊しています。特記すべきは、価格がまたあれだけ低いのに、アメリカがこのすべての状況の中で勝利しているのです。現在、アメリカは中国との貿易戦争のただ中であって、それからメキシコにいくつかの制裁を課そうとしています。不法移民がメキシコ政府によって止められるように、です。昨日の時点で、テキサス州エルパソ市だけで、1時間の間に1300人の不法移民が国境を越えました。1時間の内に、です。全員が捕まりましたが、これは、ただの大海のほんの一滴に過ぎません。アメリカ大統領は、それについて何かを行うことを決意しています。

皆さん、トランプの平和計画ですが、ジェイソン・グリーンブラットとヤレド・クシュナーが、2日前にエルサレムにいました。同じ日に、イスラエル議会が解散して、新たに選挙を行う決定をしました。アラブ界が、昨日、言いました。サウジアラビアやその他、アラブの指導者たちが言いました。「エルサレムは、いまでもパレスチナ人の首都である」「パレスチナ国家に我々は忠誠を誓う」皆さんに言うておきますが、彼らがこう言ったのは、パレスチナがそこにいたからです。彼らと我々とアメリカとの間での内密の会話では、現在、パレスチナ当局が行っていることに、彼らは我慢ならないのです。彼らが、すべてのお金を取って、あちらのテロリストの家族に報酬を渡していることに。そして事実、来月、バーレーンでの経済フォーラムを、トランプ大統領が呼びかけていますが、というか、今日は1日ですから、もう今月ですね。それにすべての裕福な石油諸国が招待されていて、そこでまず、国境について話をする前に、パレスチナを平和に同意させることができるかどうかを試みます。

イラクで、ラマダンの期間中に車の自爆が1時間の内に8件ありました。2日前です。たった1時間の間に、死者数は200人近く。今月はもう一回あるでしょう。それで足りなければ、ロシアが背後についているバッシェール・アサドは、村や町を次々と破壊しています。何百人もの人々が死亡していますが、世界は沈黙しています。人権理事会はひと言も発していません。イスラエルが関わっていませんから。私たちが何かをすれば、棚から本を一冊移動しただけで、私たちは非難されます。また、ロシアとイランの間で緊張が高まっている事も分かっています。なぜなら、イランはいま、バッシェール・アサドと取引を仲介していて、2つのロシアの海軍基地の間に、海軍基地を設けようとしているのです。そうすれば、あちらにロシアの基地があるために、イスラエルの攻撃から保護されますから。

ということで、シリアで、たくさんの方が起こっています。ペルシャ湾で、原油価格に関して、たくさんの方が起こっています。世界の他の場所でも、いろいろなことが起こっています。ドイツ議会が法案を可決したと聞きました。イスラエルに対する制裁は、すべて反ユダヤ主義となるために、イスラエルをボイコットするドイツ国内の組織は、すべてドイツで制裁を受けます。しかしながら、これは一方では、イスラエルに敵対する者すべてを叱責しながら、他方で、ドイツ政府は路上での「ネオナチの行進」を許可し、反ユダヤ的な出来事が起こるのを許しています。実際、アンゲラ・メルケルが、昨日、インタビューで発言しまし

た。「ドイツでは、ユダヤ人はだれひとりとして安全だと感じるべきではない」彼女は、実際に言ったのです。「すべての幼稚園、すべてのシナゴグ、すべての学校、すべてのユダヤ博物館、すべてのセンターは安全ではない。彼らはセキュリティをおかなければならない」彼女が基本的に認めたのは、1つに彼女の国に住むユダヤ人を守ることはできない。彼女は、実際に彼らに言いました。「あなたがたは、どこか他に行くアテがあるなら、どこかに行った方がよい。ここでは絶対に危険だから」残念なことに、憎しみのほとんどは2つの部分から来ていて、1つの部分は周辺のさまざまな国から入ってくるイスラム移民。彼らの多くがシーア派諸国から来ていて、彼らは子どものころから反イスラエルの教義を受けています。それと、もちろん何百年ものあいだ、ヨーロッパに深く根ざした反ユダヤ主義で、それが再び頭をもたげています。それと並行するもうひとつのドイツの代替は、悪くはないのですが、底には非常に過激な“ネオナチス”の組織があって、彼らはまたしてもユダヤ人を世界の問題と見て、非難しています。皆さんにお伝えしたいのは、現在、ドイツには、およそ2万人のイスラエル人が住んでいて、ほとんどがベルリンにいます。また、あちらに住むユダヤ人のコミュニティも存在します。フランス在住のユダヤ人も同様で、彼らの3分の2が、実際にイスラエルへの移住を計画していると言っています。つまり、ヨーロッパで起こっていることのために、実際にユダヤ人を故郷イスラエルに連れ戻しているのです。皆さん、思いだしてください。聖書的に、ユダヤ人は故国に戻らなければなりません。そして反キリストが、将来彼らを欺くためには、ユダヤ人はイスラエルにいて、神殿が建っていなければなりません。ですから、私たちはこれらすべてが起こるのを見ていて、このすべてが展開するのを見ています。イスラエル北部で高まっている緊張が、この数時間の間にどのように解決されるのか、私には分かりません。もし何かあれば、確実にお伝えします。

(中略)

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語/英語)**

全ての理解を超える平安、唯一、平和の主である、平和の君にだけ与える事の出来る平安が、今よりとこしえまで、ここでも、どこでも与えられますように。

私たちの救いイエシュア、彼が、私たちの救いです。私たちの平安、私たちの安らぎ、私たちの全て、主の御名によって祈ります。

すべての神の民は言います。

アーメン！

ありがとうございます。 God bless you! シャローム！

さようなら！

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.06.07 (Fri)